

ワケ カタチには理由がある(3)

Shape follows

Function & Taste

～DUKW(ダック)水陸両用車



【小型水陸両用車のフォード GPA と ↓】



【シャシーを利用した GMCトラックと ↑】

【東京で運行されているダックツアーの車輛(撮影筆者) ↓】

第二次世界大戦の米国陸軍で使用された水陸両用車です。DUKWは、1942年設計(D)・水陸両用(U)・前輪駆動(K)・後輪駆動(W)を意味し、それを水陸に生息するアヒル(DUCK)にかけて、ダックと呼称したようです。連合軍の大陸侵攻時や太平洋戦線における諸島上陸の際、沖合の船から直接兵士を上陸させるなど、重要な役割を果たしました。外観はまるで船ですが、船体にタイヤなどの陸上走行構造を取り付けたということではなくて、汎用のGMCトラックのボディを船型に改造した乗り物です。喫水線がかなり高く、積み荷を出し入れするサイドランプもないため、小型の荷物ならともかく、上陸先にクレーンなど荷役設備がない限り、ドラム缶などを荷下ろしすることは難しかったと考えられます。なお、現在でも世界各地の観光地で「ダックツアー」が運営されていますが、これは水陸両用車輛の別名となった、この車輛名に由来しています。日本でもこの中古車両が使われているツアーがあるようですが、私が東京で乗車した車輛は船にタイヤを付けたものでした。ミリタリー魂を満たせず、残念でしたw。



【模型について】

イタレリ (Italeri) 製 1/72 のインジェクションキットです。同社は 1/35 でもこの車両を出していますが、1/72 のキットも小スケールながら良好なキットです。キットには荷台の幌は付属しないので、真鍮線で骨格を作ったあと、木工ボンドを溶かした水で濡らしたティッシュペーパーを用いて自作しています。昔とったUコン機の杵柄ですw (中川裕幸 2021年1月・改定 2024年4月)